



2018年3月期

決算補足説明資料

2018年5月9日

アニコム ホールディングス株式会社

(証券コード：8715)

会社名	アニコム ホールディングス株式会社 (Anicom Holdings,Inc.)
事業内容	損害保険業（ペット保険）、動物病院支援事業 等
所在地	東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階
設立年月日	2000年 7月 5日
代表者	代表取締役 小森 伸昭
資本金	44億 4千万円 (2018年 3月末日 現在)
連結従業員数	726名 (うち、獣医師 101名。いずれも2018年 3月末日 現在。契約社員含む)
グループ会社	アニコム損害保険 (株)、アニコム パフェ (株)、アニコム フロンティア (株)、 アニコム先進医療研究所 (株)、アニコム キャピタル (株)

1. 2018年3月期 決算ハイライト

グループ連結
業績

■ 経常収益 : 32,339 百万円 (前年同期は 28,978 百万円 **11.6% 増**)

(うち、保険引受収益 : 31,290 百万円 前年同期は 28,068 百万円 11.5% 増)

■ 経常利益 : 1,853 百万円 (前年同期は 2,372 百万円 **21.9% 減**)

・新規取組み強化と安定した継続率により、**保有契約数は順調に増加** (前年同期比9.9%増)。

保険引受収益は、**前期を上回る二桁台の増加** (2017年3月期10.6%増⇒2018年3月期11.5%増)。

WEB広告強化等により、一般チャンネルでの契約獲得も増加。

・アニコム損保単体の損害率・事業費率は対前年同期比で上昇しているものの、経常収益が計画を上回ったこともあり、

グループ連結の経常利益は、計画よりもやや上振れで着地。

アニコム損保単体
損害率
(E/I)

■ 第4四半期累計 : 59.2% (前年同期は 58.9%。 **0.3pt 上昇**)

■ 第4四半期単独 : 56.3% (前年同期は 55.6%。 **0.7pt 上昇**)

・**損害率は**、新規契約増により商品ポートフォリオの改善や、高齢クラスターの料率改定効果が徐々に効いてきているものの、**対前年同期比でやや上昇。**

アニコム損保単体
事業費率
(既経過保険料ベース)

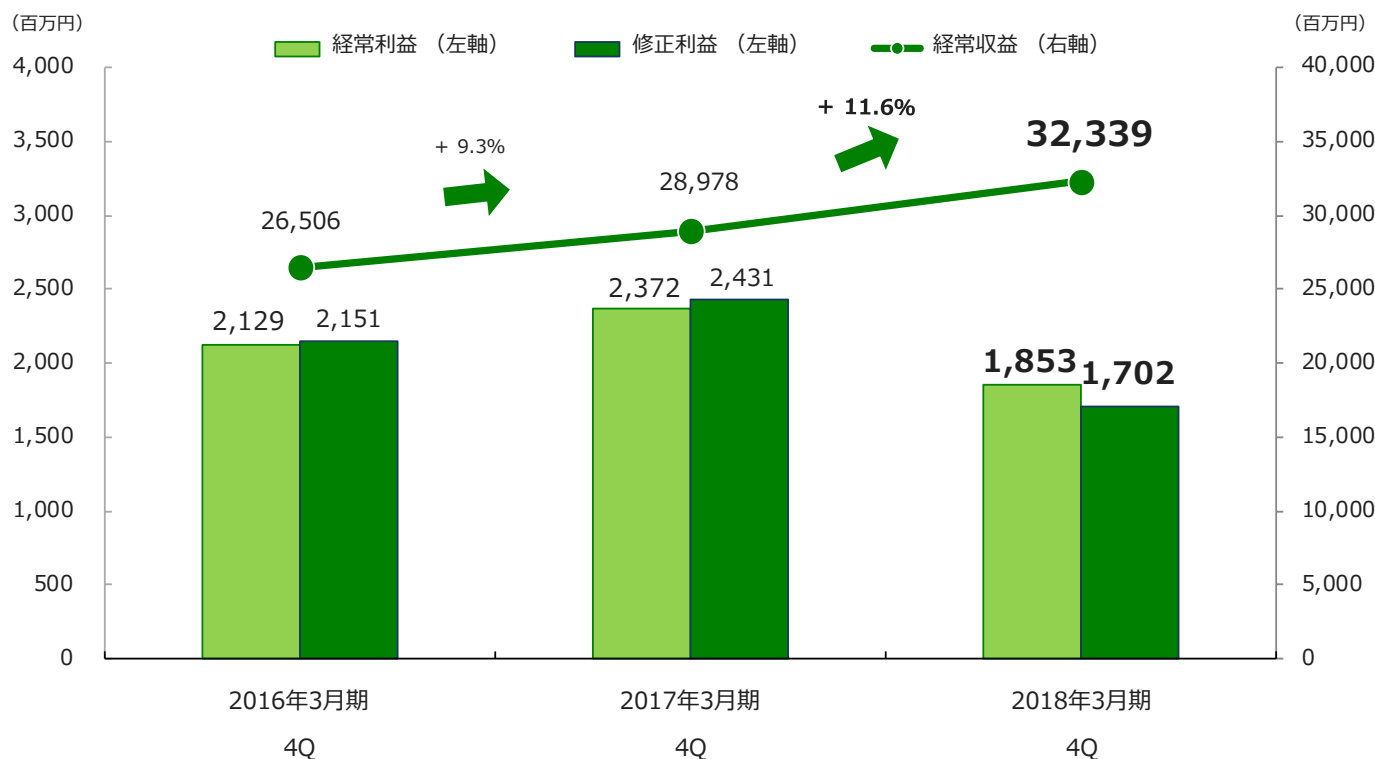
■ 第4四半期累計 : 35.2% (前年同期は 32.1%。 **3.1pt 上昇**)

■ 第4四半期単独 : 34.5% (前年同期は 32.6%。 **1.9pt 上昇**)

・**事業費率は**、経費管理の徹底やシステムを中心とした業務改善等を行っている一方、NB営業強化による代理店手数料の増加や、ペット保険規模拡大に向けた投資等 (WEB広告強化等) により、対前年同期比で**上昇。**

2. 連結経常収益・経常利益・修正利益の推移

(注) 修正利益 : ペット保険事業による実質的な損益を表す当社グループ独自の指標。
 経常利益±異常危険準備金影響額±保険引受以外の営業費・一般管理費±
 資産運用収支±その他収支にて算出。



- ・ 新規契約獲得数が対前年同期比で15.8%増加(詳細は「APPENDIX 2.アニコム損保事業」(P12)参照)するとともに、安定した継続率による継続契約件数の増加と、加齢による保険料単価上昇により、保険引受収益は着実に増加している。
- ・ ペット保険事業の実質的な利益を表す修正利益は、営業強化に伴う事業費の増加によって対前年同期で縮小したが、計画どおりの規模で推移している。

3. 2018年3月期 連結決算概況

(百万円)

主な勘定科目の内容と増減理由

	17年3月期 4Q	18年3月期 4Q	対前期 増減率
経常収益	28,978	32,339	11.6 %
保険引受収益	28,068	31,290	11.5 %
資産運用収益	504	420	△ 16.8 %
その他経常収益	405	628	55.2 %
経常費用	26,606	30,486	14.6 %
保険引受費用	18,967	21,771	14.8 %
(正味支払保険金)	(14,901)	(16,591)	11.3 %
(損害調査費)	(965)	(1,004)	4.0 %
(諸手数料及び集金費)	(1,995)	(2,660)	33.3 %
(支払備金繰入額)	(181)	(212)	17.0 %
(責任準備金繰入額)	(923)	(1,302)	41.1 %
(うち未経過保険料)	(837)	(1,199)	43.3 %
(うち異常危険準備金)	86	(103)	19.3 %
資産運用費用	0	8	2,742.4 %
営業費及び一般管理費	7,273	8,479	16.6 %
その他経常費用	364	227	△ 37.8 %
経常利益	2,372	1,853	△ 21.9 %
当期純利益	1,558	1,320	△ 15.3 %

【アニコム損保単体指標】

既経過保険料	27,230	30,090	10.5 %
発生保険金 (損害調査費含む)	16,048	17,808	11.0 %
E/I 損害率 ①	58.9 %	59.2 %	0.3 pt
既経過保険料 [△] -事業費率 ②	32.1 %	35.2 %	3.1 pt
コンビント・レシオ(既経過保険料 [△] -) ①+②	91.0 %	94.4 %	3.4 pt

① 保険引受収益 (詳細は「4. 経常収益のパラメータ」(P6)参照)

- ・保有契約数が対前年同期比で9.9%増加。
- ・新規契約数累計が対前年同期比で15.8%増加。
- ・継続契約数の増加と加齢に伴う保険料単価の上昇(料率改定含む)も一部寄与。

② 資産運用収益

- ・主に国内株式・国内REITにより安定的な運用収益を確保。

③ 正味支払保険金

- ・保有契約の増加に伴い保険金支払も増加。

④ 諸手数料及び集金費

- ・主に代理店に対する手数料。保険引受収益の増加に比例して増加。

⑤ 支払備金繰入額

- ・将来の保険金支払に備えるための繰入額。
- ・支払備金(B/S)期末残高-期首残高で算出。
- ・③正味支払保険金と合算することで、発生保険金となる。

⑥ 未経過保険料繰入額

- ・収入保険料のうち翌期以降に対応する保険料の繰り延べ。
- ・繰入額は期末残高-期首残高で算出される。なお、その期における保険引受収益のおおよそ35%-40%前後が期末残高となる。
- ・保険引受収益から未経過保険料繰入額を差し引くと既経過保険料(=発生ベースの保険料)となる。

⑦ 異常危険準備金

- ・制度化された積立であり、収入保険料の3.2%を毎期計上。
- ・一方、当期首残高を限度額として「正味損害率が50%となる水準」まで取崩すこととなり、繰入額はそのNet金額が計上される。
- ・通期では、おおよそ「増収分×3.2%」が繰入額として計上される。

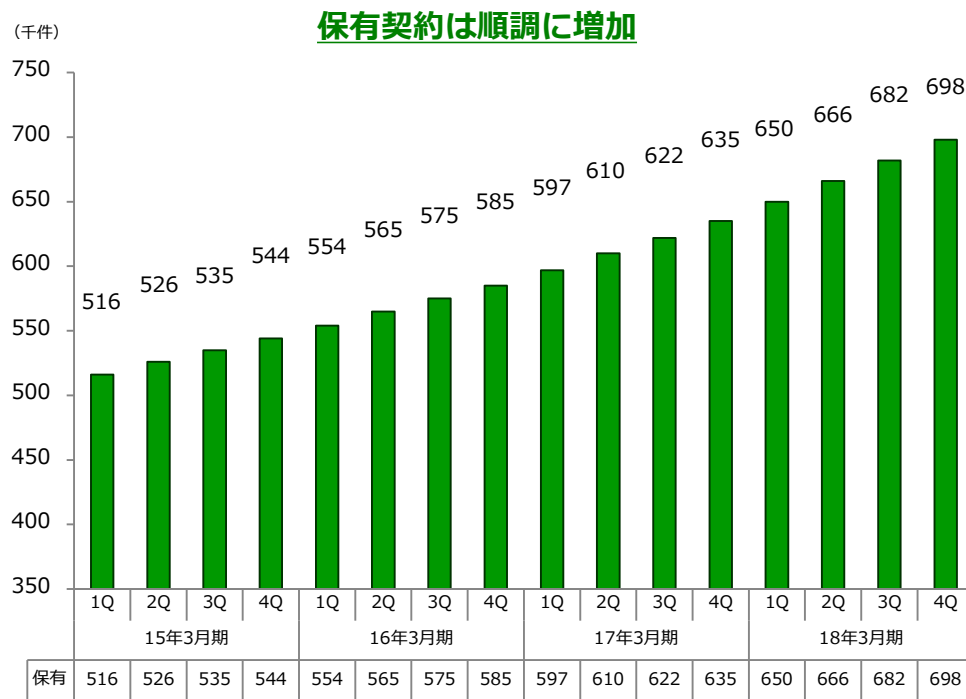
⑧ コンバインド・レシオ(既経過保険料ベース)

- ・アニコム損保単体では対前年同期比で上昇しているものの、今期は新規契約獲得に向けた投資フェーズとの位置付け。

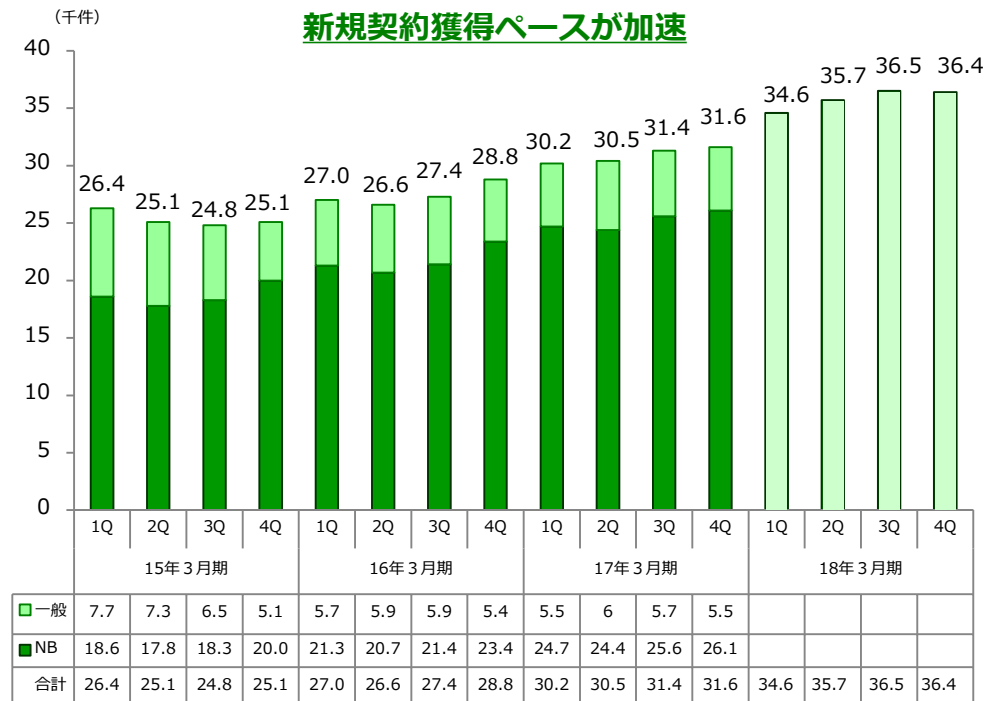
4. 経常収益のパラメータ

(アニコム損保単体 ペット保険保有契約数/新規獲得数の推移)

■ 保有契約数の四半期推移



■ 新規契約獲得数の四半期推移



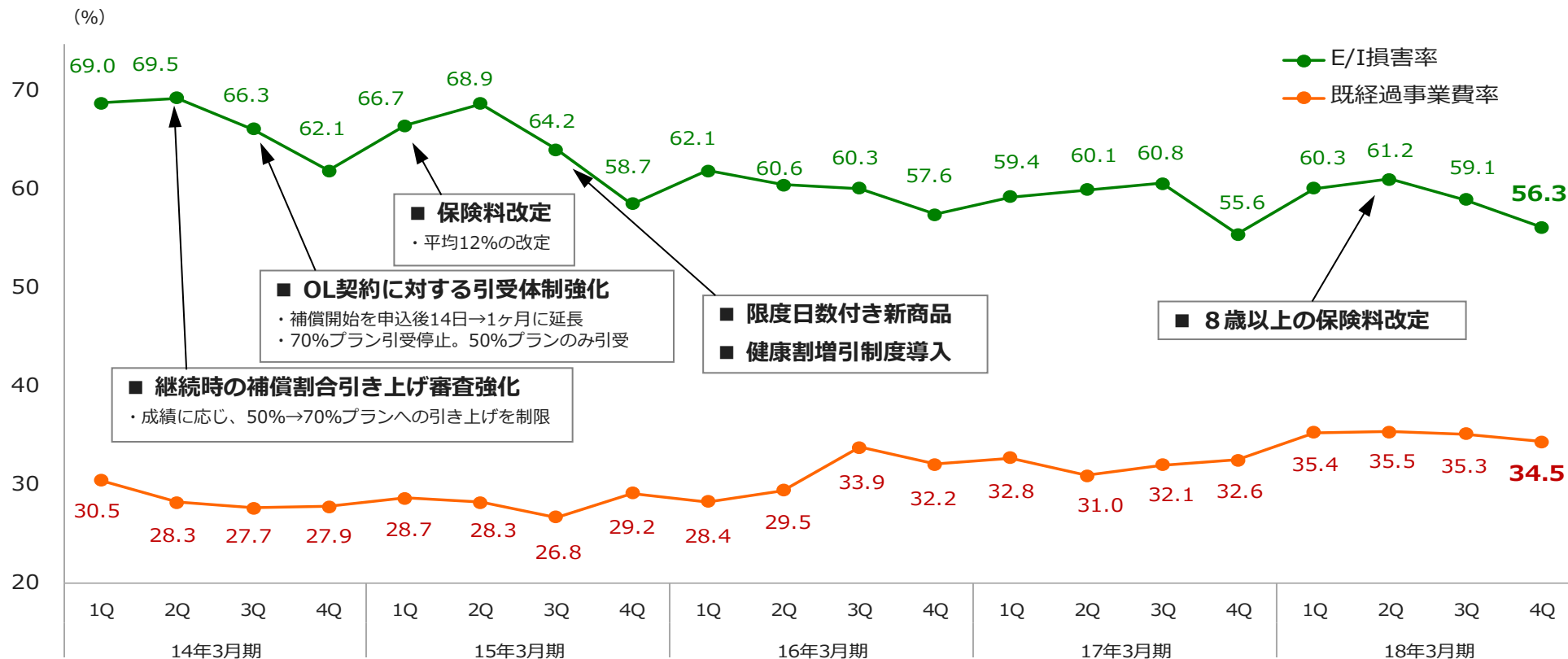
※ NB：ペットショップチャネル

- ・ **新規契約獲得は引き続き順調に推移**。NBチャネル、一般チャネルともに対前年同期比で増加。WEB広告等は効率化を図りながら、継続。
- ・ **既契約の継続率は88%前後で堅調に推移**。
- ・ 以上の結果、**保有契約数は順調に増加**。
- ・ 50%プランと70%プランの比率は、保有契約全体ではおおよそ60：40で50%プラン割合が多い。一方、新規契約では70%プランが5割超。

5. 経常費用のパラメータ

(アニコム損保単体 損害率 (E/I)、既経過保険料ベース事業費率)

注1) 下表は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。
 注2) 事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」(損保事業費÷既経過保険料)を表しております。



・**E/I損害率**は、動物病院の繁忙期に応じて1Q・2Qに上昇した後、3Qから4Qにかけて通院頻度が減少することで改善していくといった季節性を有する。今期は、新規契約増により商品ポートフォリオの改善が順調に進んだことや、高齢クラスターの料率改定効果が徐々に効いてきたことから、**概ね計画通りで推移(対前年同期比ではやや上昇)**。

・**事業費率**は、規模の経済効果に加え経費管理の徹底、システムを中心とした業務改善等を行っている一方、NB営業強化による代理店手数料の増加や、WEB広告強化による販売費及び一般管理費の増加等により、**対前年同期比で上昇**(アニコム損保単体では計画よりも上振れ)。

・安定した利益計上と新規投資のバランスを図るため、両者を合算した**コンバインド・レシオを中期的には90%程度でコントロールする方針**(2017年度は投資フェーズのため上振れ)。

6. 連結貸借対照表 サマリー

(百万円)

主な勘定科目の内容と増減理由

	17年3月期	18年3月期 4Q	増減率
資産合計	28,123	31,164	10.8%
現金及び預貯金	15,242	19,078	25.2%
有価証券	5,914	4,625	△ 21.8%
有形固定資産	1,432	1,359	△ 5.1%
無形固定資産	904	1,462	61.6%
その他資産	4,171	4,104	△ 1.6%
繰延税金資産	597	623	4.3%
貸倒引当金	△ 140	△ 88	-%
負債合計	15,842	17,576	10.9%
保険契約準備金	12,993	14,508	11.7%
うち支払備金	1,739	1,952	12.2%
うち責任準備金	11,253	12,556	11.6%
その他負債	2,635	2,845	8.0%
賞与引当金	172	173	0.7%
価格変動準備金	41	48	16.7%
純資産合計	12,281	13,587	10.6%
株主資本	12,233	13,546	10.7%
うち資本金	4,402	4,443	0.9%
うち資本剰余金	4,292	4,333	1.0%
うち利益剰余金	3,539	4,770	34.8%
うち自己株式	△ 0	△ 0	-%
その他有価証券評価差額金	△ 100	△ 128	-%
新株予約権	148	169	14.3%
負債・純資産合計	28,123	31,164	10.8%

① 有価証券

- ・ 主に国内株式・国内REIT等にて運用。

② 支払備金

- ・ 将来の保険金支払に備えて計上される未払金。
すでに請求を受けている①普通支払備金と、保険事故は発生しているものの未だ請求を受けていない②IBNR備金を計上。
- ・ 基本的に保有契約の増加に伴い保険金請求も増加するため増加傾向。

③ 責任準備金

- ・ 未経過保険料である①普通責任準備金（11,554百万円）と、異常災害に備えて引き当てる②異常危険準備金（1,002百万円）を計上。
- ・ 普通責任準備金は保有契約の増加に伴い増加する傾向であり、当該期における正味収入保険料のおおよそ35%~40%前後が残高として計上される傾向。

7. 連結キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)

	17年3月期 4Q	18年3月期 4Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,231	3,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,233	253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 79	△ 10
現金及び現金同等物の増減額	7,385	3,635
現金及び現金同等物の期首残高	6,106	13,492
現金及び現金同等物の期末残高	13,492	17,128

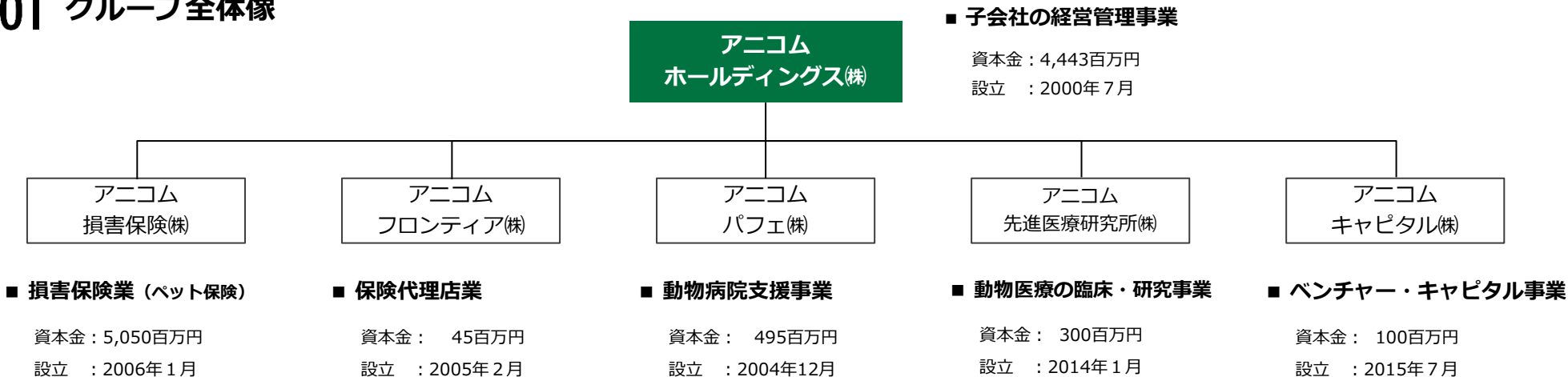
- ・保有契約の順調な増加により、安定した営業キャッシュ・フローを計上。
- ・運用資産への投資を進める一方で売却による回収も実行し、投資キャッシュ・フローをコントロール。
- ・財務キャッシュ・フローは剰余金の配当による支出。

APPENDIX

1. グループ概要
2. アニコム損保事業

1. グループ概要

01 グループ全体像



02 グループ沿革

2000年4月	任意組合として anicom（どうぶつ健康促進クラブ）設立	2008年1月	アニコム損保(株)がペット保険の販売を開始
2000年7月	anicomから「どうぶつ健保」事務受託会社として(株)ビーエスピー設立 (2005年1月にアニコム インターナショナル(株)に、2008年6月に アニコム ホールディングス(株)に、それぞれ商号変更)	2008年4月	アニコム損保(株)がペット保険の補償を開始
2004年12月	アニコム パフェ(株)設立	2009年11月	「家庭どうぶつ白書」発刊（以降、毎年発刊）
2005年2月	アニコム フロンティア(株)設立	2010年3月	アニコム ホールディングス(株)が東証マザーズ上場（証券コード：8715）
2006年1月	保険会社設立準備のため、アニコムインシュランスプランニング(株)設立 (2007年12月にアニコム損害保険(株)に商号変更)	2014年1月	日本どうぶつ先進医療研究所(株)（現「アニコム先進医療研究所(株)」）設立
2007年12月	アニコム損害保険(株)が損害保険業免許を取得 アニコム インターナショナル(株)が保険持株会社としての認可取得	2014年6月	アニコム ホールディングス(株)が東証一部に市場変更
		2015年7月	アニコム キャピタル(株)設立
		2016年4月	当社49%、富士フイルム(株)51%出資の動物の再生医療に関する合併事業として、セルトラスト・アニマル・セラピューティクス(株)を設立

2. アニコム損保事業

01 主要経営パラメーター

	①	②	②-① 対前期末	
	17年3月期末	18年3月期末	件数	率
① 保有契約数	635,670 件	698,566 件	62,896 件	9.9 %
② 新規契約数	123,849 件	143,365 件	19,516 件	15.8 %
③ 継続率	88.2 %	88.2 %	-	-
④ 保険金支払件数	2,823 千件	3,006 千件	182 千件	6.5 %
⑤ 対応動物病院数	6,083 病院	6,265 病院	182 病院	3.0 %

③ 19年3月期末 (5月9日予想)	③-② 対前期末	
	件数	率
776,080 件	77,514 件	11.1 %
166,000 件	-	-
88.2 %	-	-
3,218 千件	211 千件	7.0 %
6,400 病院	135 病院	2.2 %

	17年3月期末	18年3月期末	対前期末
① E/I 損害率	58.9 %	59.2 %	0.3 Pt 上昇
② 既経過保険料ベース事業費率	32.1 %	35.2 %	3.1 Pt 上昇
③ コンバインド・レシオ (既経過保険料ベース)	91.0 %	94.4 %	3.4 Pt 上昇
④ 単体ソルベンシー・マージン比率	295.6 %	305.6 %	10.0 pt

19年3月期末 (5月9日予想)
59.0 %
34.5 %
93.5 %
315.0 %前後

2. アニコム損保事業

02 トピックス

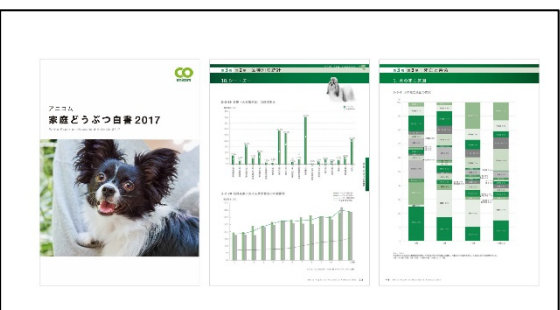
① 新商品「ぷち」を発売開始 (10/2)



「入院」と「手術」の補償に特化し、保険料をこれまでの約1/3に抑えた新商品「どうぶつ健保ぷち」を2017年10月2日に販売開始しました。安価な保険料で「もしも」に備えられる保険が欲しいといったお客様の声にお応えする商品です。

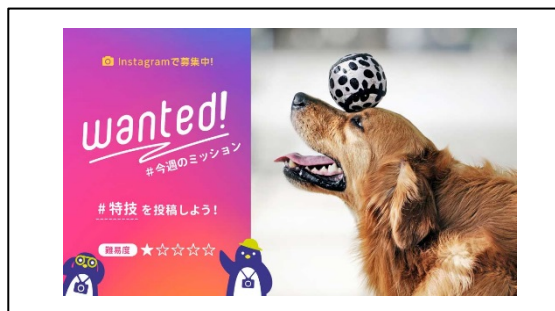
NEW!

④ 「家庭どうぶつ白書2017」発刊



2009年から毎年発行している、「家庭どうぶつ白書2017」を12月15日に発刊しました。本書は、保険データを基に疾患統計等をまとめており、国内最大規模のペットのデータ集として、毎年メディアでも取り上げられる統計書です。

② SNSの更なる活用 (LINE、Instagramなど)



上半期にLINEを活用した保険金請求サービスを開始し、6月13日からは、アニコムの獣医師に直接相談できる「どうぶつホットライン」を開設しました。また、Instagramを開設し、週替わりのお題（#特技 #クリスマス 等）をお出ししています。

NEW!

⑤ 「しっぽ応援プラン」発表



丸紅新電力(株)と協業した「しっぽ応援プラン」を発表しました。本プランは、電力料金の一部を殺処分ゼロや野生動物保護の取り組みへ拠出することで、国内外のどうぶつを支援する新しい電力プランであり、当社のCSR活動の一環です。

③ 遺伝子ベンチャー企業「VEQTA」への一部出資



犬・猫の遺伝性疾患の減少を目指し、遺伝子検査事業を行う愛媛大学発のベンチャー企業「株式会社VEQTA」に一部出資を行いました。アニコム先進医療研究所(株)との事業においても親和性が高く、研究事業を加速して参ります。

NEW!

⑥ 「イーペットライフ社」との協業合意



動物病院・トリミングサロンなどの施設情報を発信するポータルサイト「EPARKペットライフ」を運営する「イーペットライフ株式会社」との協業を合意いたしました。アニコムパフェ(株)における、動物病院向けカレダ管理システム(アニコムレセプター)との連携等により、多面的な発展を目指します。



お問い合わせ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部

東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 39階

URL : <http://www.anicom.co.jp/>

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しております。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包して おります。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり

当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。